

Epreuve d'admission : Analyse en langue étrangère d'un texte étranger hors programme

A L'ATTENTION DU (DE LA) CANDIDAT(E)

Vous devez impérativement :

- 1- écrire lisiblement vos noms et prénoms,
- 2- signer, ci-dessous,
- 3- remettre votre sujet au jury et lui présenter votre pièce d'identité munie d'une photographie.

Série : langue vivante : japonais LV1 / LV2

NOM :

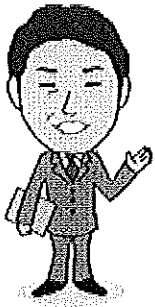
Prénom :

Signature :

SERIE LANGUES VIVANTES
JAPONAIS
ANALYSE ~~LV1~~ LV2 TEXTE HORS
PROGRAMME

Sujet : Journal CHŪNICHĪ web du 28/10/2010

Q&A 今週のお悩み相談



タイトル：子供の将来と教育 子供を高学歴で高収入にするにはどうしたらいいのでしょうか。どうしたら、道を外さず子供を教育できるのでしょうか？この二つを両立するためにはどうしたらいいのでしょうか。

2010. 10. 28 update

ニックネーム : B. T.

高学歴と高収入という二つの結果は同じようであり、全く違う結果です。学歴は勉強ができれば、得ることができますが、高収入は学歴だけでは得ることができません。

成績を上げるためには、詰め込んで勉強するという方法や勉強すべき単元や問題だけを指定してもらい、その内容だけする方法もありますが、それでは高収入にはつながりません。

勉強を通じて、本来「実行力」や「分析力」や「計画力」、「忍耐力」など様々な「社会に出た時に必要な能力」を身につけるということが、教育の目的であると思いますが、詰め込み学習や学校外教育などのヤマ張りなどにより、身につけるべき能力が身につかずに、社会人になってしまう方も増えてきています。

お母様の目的を達成するためには、早い時期から勉強の目的ややり方などを教え、日ごろの生活習慣の中で勉強させるように努め、その行為を褒めてあげること、お子様自身が自発的に勉強するように

仕向けることが重要だと思います。その中で上手く行かなかった時などに、一緒に考えてあげるなどの課題共有をすることで、上記のような能力が身につくようになりますかと思えます。

実は、そういった親御さんの一緒に悩み、解決するという姿勢が正しい道を外さずに進んでいく秘訣ではないかと思えます。

幼少期の親御さんからの評価（褒めるという行為）は、お子様の自発性の原動力であり、一緒に悩み、一緒に解決する行為は、お子様の支柱になると思えます。その双方を実行するためには、日ごろからの親子のコミュニケーションを取る必要があります、これは一朝一夕では叶えません。親御さんの忙しさなどからの感情を押し殺して、お子様との時間を積極的に取り、尊重することが一番の近道であると考えます。

「お悩みアドバイザー」

せんむとりしまりやく もりやま まゆ
専務取締役 森山真有

しまね
島根県出身。1995年京都大学経済学部卒業、同年株式会社トライグループ入社。

取締役となった現在も、担当生徒を抱え、学習プランの立案、家庭教師の指導等を行う。

<http://www.trygroup.co.jp/address/aichi/>